

サンゴの移植 ⑪

— サンゴ移植の成功へ向けて —

パネル・ポスターなどの展示 9:00~17:00
(会場内の別区画)

サンゴ礁保全やサンゴの移植活動に関連した取り組みなどのパネルやポスター・パンフレット・標本などの展示も可能です。展示やパンフレットなどの配布をご希望の方は、当日開始前に各自ご準備頂き、活動の紹介や宣伝あるいは情報交換などにご活用下さい。

・ 2016年12月8日 (木)
・ 会場：名桜大学 学生会館
SAKURAUM 6階 ホール
・ 講演：10:00-16:30
・ ポスター等展示：9:00-17:00
参加費：無料

定員100名：申し込み先着順



(写真：山里祥二)

(写真：山里祥二)

プログラム

開会挨拶 (10:00-10:05)

後藤 和夫 (沖縄美ら島財団 総合研究センター長): 開会挨拶

講演 I (10:05-12:00)

- ① 西平 守孝 (沖縄美ら島財団 総合研究センター): サンゴ移植における失敗と成功の考え方 —サンゴの移植⑪の趣旨説明をかねて—
- ② 比嘉 義視 (恩納村漁業協同組合): 恩納村におけるサンゴ移植の新たな段階について
- ③ 山里 祥二 (NPO法人 コーラル沖縄): サンゴ植付け・10年間の試行錯誤
- ④ 金城 浩二 (有 海の種): サンゴ種苗生産における選抜と育種の可能性 —(有)海の種のサンゴ畑における取り組み—

— 昼食 + 交流 + 情報交換 60分 —

講演 II (13:00-15:00)

- ⑤ 藤原 秀一 (いであ株式会社): 移植サンゴ生残のカギ —底質と微地形—
- ⑥ 中村 明毅 (沖電開発 株): 沖電開発のサンゴ植付実績～海域別・種別の実績紹介～
- ⑦ 岡田 亘 (株 エコー): 有性生殖法を利用したサンゴ移植技術の改善事例の報告
- ⑧ 池田 智・木寺 莉菜 (ミスワリン): ワリンの森の成果と課題

— 休憩 20分 —

総合討論: (15:20-16:40)

- ⑨ 司会者講演: 中野 義勝 (琉球大学 瀬底研究施設): サンゴ移植技術の成熟とサンゴ礁保全の次のステップ

総合討論

主催：一般財団法人 沖縄美ら島財団 総合研究センター
共催：名桜大学総合研究所 後援：沖縄県・沖縄県サンゴ礁
保全推進協議会・日本サンゴ礁学会サンゴ礁保全委員会

サンゴの移植

11



●参加申し込みとお問い合わせは下記まで:

沖縄美ら島財団 総合研究センター 普及開発課 担当: 永田俊輔・ミラー メリア

TEL: 0980-48-2266 (平日午前9時~午後6時) FAX: 0980-48-2200

E-mail: ocrc@okichura.jp (メールの件名は サンゴシンポ とお書き下さい)

